

# 合コンの話

伊坂幸太郎（法学部）

東北大出身の小説家といえば、やはりこのひとは外せないだろう。今回は数多い伊坂幸太郎作品の中から、私が一番好きな話を紹介する。新潮文庫から出ているアンソロジーに収録されている短編であり、著者の作品としてはあまり知られていないかもしれない。

この『合コンの話』は、文字通り、一夜に行われたとある合コンの物語である。その合コンについて、開催されるに至った

経緯から参加者の男性陣・女性陣それぞれの背景事情、当日の合コン開催店近辺の様子に肝心の合コンの模様、さらには合コン後の世界の変化まで各パートに分けてわかりやすくかつユーモアをもつて教えてくれ、合コンに参加したことのない読者も、なんとなく合コンがわかった気になれるかもしれない。

この作品の魅力は、詳細な合

コン実況と一つの合コンにこれでもかと丹念に張り巡らされた伏線が回収されていく爽快感にある。著者ならではのエンターテイメントが合コンサイズで楽しめる作品であり、それと同時に、世界には平和なことがたく

さんあると思わせてくれる、微笑ましい短編である。

また、作中には合コンの決め手として「おしごりルール」なるものが登場する。私は合コンを知らないのだが、このルールは現実にもあるのだろうか。詳しい方、ぜひ教授を。（新潮文庫『Story Seller2』収録／￥667／担当：灯子）



沢木耕太郎　伊坂幸太郎　有川浩  
近藤史恵　佐藤友哉　本多孝好　米澤穂信  
新潮社刊　著者による脚本編

新潮文庫